

令和3年度研修医募集



大分県立病院

～ 研修医の皆さんへ ～

大分県立病院は、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、循環器センター、地域がん拠点病院、小児救急拠点病院の機能を備え、さらに、災害や1類感染症にも対応する基幹病院です。毎年、1年次、2年次基幹型と協力型を合わせると40人近い研修医の先生方を指導しています。最もよく聞かれる声は『大分県立病院はありふれた疾患から高度医療を要するまれな疾患までとにかく幅広く経験できる病院』というものです。そして『救急の場面でも可能な限り研修医がファーストタッチを経験できる病院』さらに、『各診療科同士の垣根が低く、診療科同士のコンサルテーションがし易い病院』という声もよく聞かれます。

本年度からスタートした臨床研修制度では、これまでの内科、救急、地域医療に加え、外科、小児科、産婦人科、精神科が必修化され、一般外来研修も必要となります。当院では、新たに必修化されるこれらの研修について、十分に対応できるので心配無用です。

また、研修医の処遇改善や当直明けの勤務日の午後を休みにするなど、働き方改革を先行して行っています。その他にも、基本的な手技研修には現場で経験する前のトレーニングに必要なシミュレーターやトレーナーを備えたり、さらには医療情報収集用に研修医一人一人へパソコン端末を配備するなどの環境整備にも努めています。加えて、プレゼンテーション力養成のための症例発表、経験症例の退院サマリー作成や院内誌への論文投稿などの経験も積んでいける環境を作っています。

研修医の皆さん、是非、大分県立病院で医師としての研修第一歩を踏み出してみませんか。きっと後悔しない研修ができると思いますよ。

大分県立病院院長 井上 敏郎

令和3年度 大分県立病院研修医募集要項

1 募集人数：14名

2 応募方法

- ・次の書類を下記の締切期限までに郵送又は持参してください。

- | | | |
|---|-----------|-------|
| ① | 願 書 | : 1 通 |
| ② | 履歴書 | : 1 通 |
| ③ | 成績証明書 | : 1 通 |
| ④ | 卒業（見込）証明書 | : 1 通 |

(願書、履歴書は大分県立病院研修医募集HPからダウンロード可能です)

- ・ 選考日程

	面接日程
第1回目	令和2年8月 4日(火) ※書類応募締切 令和2年7月28日(火)
第2回目	令和2年8月11日(火) ※書類応募締切 令和2年8月 4日(火)
第3回目	令和2年8月25日(火) ※書類応募締切 令和2年8月18日(火)

※応募者には、別途通知のうえ、いずれかの日程で面接を受けていただきます。

※書類応募締切は、いずれも当日消印有効です。

- ・ 提出先：〒870-8511 大分市大字豊饒2-8-1
大分県立病院 教育研修センター（総務経営課内）
- ・ 選考方法：面接

3 研修医の処遇

- ①身 分：大分県職員（非常勤）
- ②給 与(月額)：1年次 300,000円程度 2年次 310,000円程度
※ 正規職員に準じて改定されることがあります。
※ 諸手当込（所得税等差引前）の月あたり支給額は、390,000円～410,000円程度です。
※ このほか、期末手当を6月、12月に基本給1.3月分ずつ支給されます。
- ③手 当：時間外勤務手当、宿日直手当、通勤手当
- ④社 会 保 険：健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険 適用
- ⑤宿 舎：完 備
※ 畑中医師宿舎（家賃11,900円。空きがない場合は近辺の住居（レオパレス）を借り上げ（家賃13,700円程度）
- ⑥休 暇：年次有給休暇（1年次：10日を上限に付与、2年次：11日）
その他の労働基準法に定める休暇
忌引休暇（常勤職員の例により必要と認められる日数）※平成31年4月から有給休暇化
- ⑦健 康 管 理：定期健康診断
各種予防接種（本人負担なし）
※ B型肝炎ワクチン接種、インフルエンザ予防接種
麻疹、風疹、ムンプス、水痘帯状疱疹の予防接種
- ⑧医師賠償責任保険：本院が病院賠償責任保険に加入（個人加入は任意）

<研修スケジュール>

1年目

必修分野 内科(24週)、小児科(4週または8週)、産婦人科(4週または8週)、外科(4週または8週)、救急科8週

内科24週(3診療科×8週)	小児科 4(8)週	産婦人科 4(8)週	外科 4(8)週	救急8週
----------------	--------------	---------------	-------------	------

(注1)4週または8週毎に各診療科をローテートします。

(注2)ローテート順は、診療科の都合により前後します。

(注3)「外科」は、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科から選択します。

2年目

地域医療4週、精神科4週、選択科の研修とする。

1年次に必修科がとれなかった場合は2年次にローテートする。

選択科は、研修医の希望により当院の全診療科から選択できる。

地域医療 4週	精神科 4週	選択科
------------	-----------	-----

(注1)「地域医療」は、臨床研修協力施設(へき地診療所等)において実施することとし、一般外来研修を含みます。

(注2)地域医療は協力施設の都合により前後します。

(注3)当直を年間25回行うことにより、救急4週相当とし目標を達成します。

<プログラムの特徴>

以下の各号に対処できる医師の養成を目的としています。

- ① 頻度の高い疾病や外傷の診断と治療ができる。
- ② 救急の初期診断ができる。
- ③ 適切な時期及び方法で、他科又は上級医に紹介できる。
- ④ 医療情報、診断内容を正しく記録する習慣を身につけ、正確に伝達できる。
- ⑤ チーム医療を理解し、実践できる。
- ⑥ 患者およびその家族と信頼関係を構築でき、診断・治療に必要な情報が得られるとともに診断結果、治療方法等相手の求める情報を正しく伝えるような医療面接を実施できる。
- ⑦ 疾病の予防、健康管理、リハビリテーションについて理解し、基本的医療計画を立てることができる。

<研修可能な診療科>

内科(循環器内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、腎臓・膠原病内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、血液内科、神経内科、放射線科)、外科(外科(消化器外科、乳腺外科)、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科)、麻酔科、救命救急センター、小児科、新生児科、産婦人科、臨床検査科部(病理)、精神科(大分大学医学部附属病院)

<診療の実績>

<入院患者>

年度	入院患者数 (人)	平均在院日数 (日)
平成28年度	154,912	11.5
平成29年度	157,637	11.7
平成30年度	158,531	11.6
令和元年度	160,177	10.7

<手術>

年度	手術件数 (件)
平成28年度	4,554
平成29年度	4,433
平成30年度	4,566
令和元年度	4,507

<外来患者>

(人)

年度	外来患者数	1日平均 外来患者数
平成28年度	210,876	867.8
平成29年度	207,753	851.4
平成30年度	207,180	849.1
令和元年度	207,985	852.4

<救急患者>

(人)

年度	年間患者数	患者搬送別	
		救急車	その他
平成28年度	7,925	2,580	5,345
平成29年度	7,832	2,621	5,211
平成30年度	7,809	2,303	5,506
令和元年度	7,872	2,529	5,343



バス (大分駅から約20分)

大分駅前 (4番・5番) バス乗り場

トキハ前 (1番・2番) バス乗り場

行き先: すべて大道経由

大分県立病院 戸次(臼杵・佐伯・竹田)
 大南団地 敷戸団地 畑中
 寒田ふじが丘 ふじが丘(光吉台中央経由) など

「大分県立病院」または「県立病院入口」、「県立病院西口」下車

大分県立病院

〒870-8511 大分市大字豊饒2-8-1

TEL 097-546-7454 FAX 097-546-0725

ホームページ <https://www.oitapref-hosp.jp/>

E-mail kensyu-center@oitapref-hosp.jp